

TF36H2C3-83705

第2号様式 (検査法人提出用・表面)

第 平成 年 月 日 号

東邦車輛株式会社 殿

改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

[指示事項]

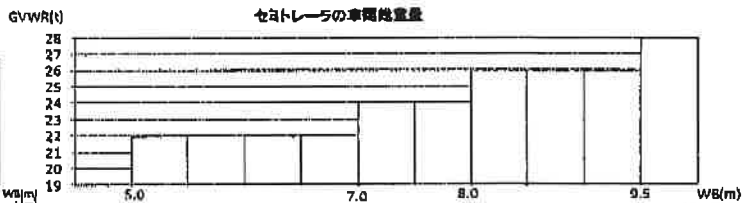
主要諸元比較表

標準車輛の類別等を記載する。

(0726)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度	
車名	東邦	←		乗車定員人	-	-		
型式	TF36H2C3	←		最大積載量 kg	29200	27400		
自動車の類別	普通	←		車両 総重量 kg	前前軸重	10550	11305 (14040 kg)	
用途	貨物	←			後前軸重	8480	8225 (10945 kg)	
車体の形状	セミトレー	←			後中軸重	8480	8230 (10945 kg)	
燃料の種類	-	-			後後軸重	8480	8230 (10945 kg)	
原動機型式	-	-			計	35990	35990 (46950 kg)	
総排気量(L)又は定格出力(kw)	-	-		最大安定 傾斜角度°	左	50	* 47 一般 ≥35° その他 ≥30°	
長さ m	12.145 (11.600)	13.260 (11.920)	≦13m		右	50	* 47	
幅 m	2.490	←	≦2.5m	タイヤ サイズ	前前軸	-	-	
高さ m	2.260	3.210	≦3.8m		後前軸	11R22.5 -14PR	11R22.5 -16PR	(10900 kg)
軸距 m	6.910+1.300 +1.300 =9.510	7.050+1.320 +1.320 =9.690			後中軸	11R22.5 -14PR	11R22.5 -16PR	(10900 kg)
	前前輪	-	-		後後軸	11R22.5 -14PR	11R22.5 -16PR	(10900 kg)
後前輪	1.850	←			前輪荷重 割合	空車	-	≧18, 20%
後中輪	1.850	←		積車	-	-		
後後輪	1.850	←		リヤ・オーバーハングm	2.090	2.175	≦1/2 (4.845 m)	
室内又は 荷台の内 側の寸法	長さm	12.000	12.500	荷台オフセット m	2.610	2.800		
	幅 m	2.470	2.400	最小回転半径 m	-	* 10.2	≦12m	
	高さm	-	0.420					
車両重量 kg	前前軸重	1270	2140					
	後前軸重	1840	2150					
	後中軸重	1840	2150					
	後後軸重	1840	2150					
計	6790	8590						

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg ≦ 18 t	kg ≦ 20 t	16460kg ≦ 19 t

能力強度等検討

制動能力	踏力 - N	60km/h 39m	車軸強度	X
	空気圧 637kPa		操縦装置強度	-
推進軸	回転数	-	緩衝装置強度	X
	強度	-	制動装置強度	X
車枠強度		X	連結装置強度	X
		X		X

- 注1. 能力検討欄は、該当しないものは一、省略したものはXを記入すること。
- 注2. 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加、削除することができる。
- 注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9.(1)関係)
- 注4. ※印はいすゞQKG-EXD52AD型トラックと連結時の計算値を示す。
- 注5. 長さ欄の()内の数値は連結装置の中心(キングピン位置)から車両後端までの長さを示す。

R014783

S-5282

第2号様式（検査法人提出用・裏面）

改造等の概要

目的	当該車両は東邦TF36H2C3型セミトレーラ（25国自審第308号新02125号）、類別0726を、分割可能な貨物の安全輸送をはかるために変更する。（あおり型、固縛を前提にするもの）
車枠及び車体	
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

注1：変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。

注2：届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法（昭和26年6月1日法律第185号）に基づく勧告、命令を受ける場合があります。（第57条の2、第63条の2、第63条の3関係）

改造等の概要補足説明

車名 車台番号：東邦 TF36H2C3-83705

車枠及び車体	<ul style="list-style-type: none">・緩衝装置ブラケットの移動により、軸距を$6.910\text{m}+1.300\text{m}+1.300\text{m}=9.510\text{m}$から$7.050\text{m}+1.320\text{m}+1.320\text{m}=9.690\text{m}$に変更する。・フロントオーバーハングを0.300m延長する。$0.400\text{m} \rightarrow 0.700\text{m}$・リヤオーバーハングを$0.085\text{m}$延長する。$2.090\text{m} \rightarrow 2.175\text{m}$
--------	--

